

16 事業名：トルコギキョウの秋出荷作型拡大に向けた短日処理技術の検討

要約

トルコギキョウの秋出荷作型について、短日処理を行い、効果の評価を行っている。

中生品種について7月中旬に定植後、9時間日長になるよう短日処理を20日間行うことで、到花日数が3週間程度延長し、太茎で切り花長が8cm程度長くなるなど、上位等級比率が高まった。

晩生品種について7月上旬に定植後、10時間日長になるよう短日処理を28日間行うことで、到花日数が3週間程度延長し、太茎で切り花長が6cm程度長くなるなど、上位等級比率が高まった。

処理に係る経費や作業の増加分に対する負担のとらえ方は経営体の判断となるものの、需要期で高単価が見込まれる秋出荷は、経営上有利とみられた。

引き続き、品種適性、定植時期、処理時間、処理期間等の検討が必要である。

担当者：JA あづみ農産課 小山、安曇野市農政課 加藤、長野県松本農業改良普及センター 小口、中村、松崎

1. 課題設定の背景と目的

松本地域の作型は、一部生産グループを除いて季咲き栽培作型が主体である。需要が期待され、今後生産振興したい秋出荷作型は、近年やや上向いているものの、安曇野市での取り組みはこれからの状況である。そこで短日処理による品質向上や、当地に適応した品種の検討と経済性について検討する。

2. 調査研究の内容

- (1)実施時期 平成30年7月～12月
(2)実施地区 安曇野市（A氏：豊科、B氏：穂高）の生産者
(3)供試品種 A氏 中生品種 1種 マリアホワイト（サカタのタネ）
B氏 晩生品種 3種
オーブスノー（サカタのタネ）
オーブピンクフラッシュ（サカタのタネ）
オーブイエロー（サカタのタネ）

(4)調査研究方法

- ①使用資材：シェード用ホワイトシルバー（トーカン多層ホワイトシルバー）
②生育調査：草丈、節数、茎径 ③品質調査：切り花長、切り花重、茎径、輪数
④経済性調査：販売価格、作業性

3. 結果の概要及び考察

(1)A氏

定植日：7/15
短日処理：7/17～8/6（20日間）
表1 生育調査

品種	短日処理	生育調査(8/6)		生育調査(8/24)	
		草丈(cm)	節数(節)	草丈(cm)	節数(節)
マリア	17:00～8:00(9時間日長)	9.1	4.7	26.8	8.8
ホワイト	なし	16.2	5.4	47.6	6.6

(参考) 短日処理区の発らい8/24、無処理区は調査未実施

表2 切り花調査

品種	処理	切花長 (cm)	茎長 (cm)	節数	分枝数	輪数	茎径 (mm)	切花重 (g)	出荷期間		平均 単価(円)
									開始	終了	
マリア	短日処理	70.2	41.8	8.9	3.9	8.6	5.2	85.5	10/1	10/21	157
ホワイト	無処理	62.2	34.0	6.5	2.3	6.5	4.3	44.3	9/10	9/12	75

図1 短日処理の様子

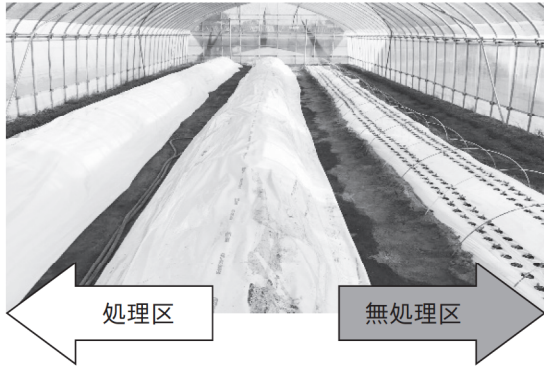


図2 撮影9/10 無処理区が出荷期

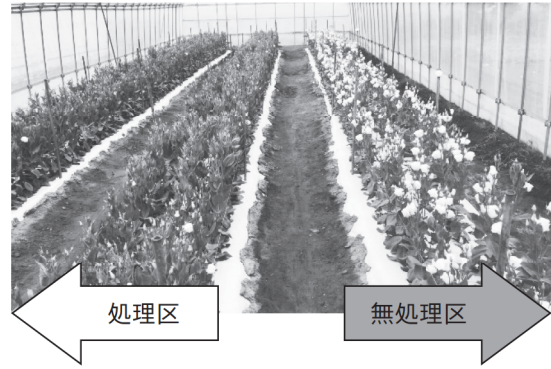
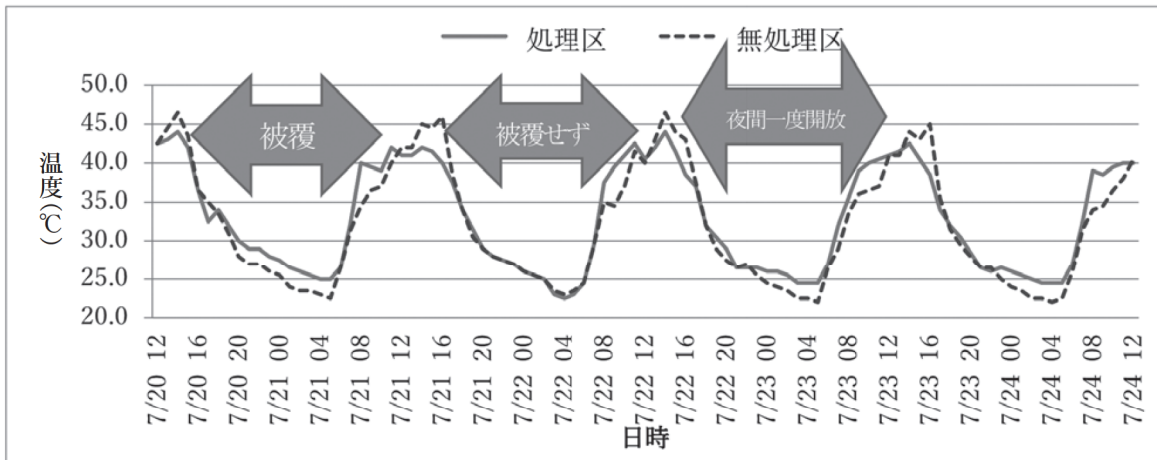


表3 シェード用ホワイトシルバー被覆時のトンネル内温度変化 (7/20 ~ 24の間抜粋)



(2) B氏

定植日: 7/7

短日処理: 7/9 ~ 8/6 (28日間)

表4 生育調査

品種	短日処理	生育調査(8/6)	
		草丈(cm)	節数(節)
オーブ	18:00~8:00(10時間日長)	14.6	4.9
スノー	なし	21.4	5.0

(参考) 無処理区の発らい8/6、短日処理区は調査未実施

表5 切花調査

品種	処理	切花長 (cm)	茎長 (cm)	節数	分枝数	輪数	茎径 (mm)	切花重 (g)	出荷期間		平均 単価(円)
									開始	終了	
オーブ	短日処理	91.9	59.8	11.3	3.1	6.9	8.0	133.6	10/27	11/12	206
スノー	無処理	85.9	40.3	7.3	3.1	8.4	6.1	99.0	10/6	10/11	184
オーブ	短日処理	103.5	65.9	11.2	5.0	10.6	6.8	145.6	10/11	10/31	183
ピンクフラッシュ	無処理	85.0	44.6	6.8	2.6	7.1	5.5	74.5	9/19	9/27	145
オーブ	短日処理	94.7	47.4	8.5	3.0	7.0	5.6	96.8	10/6	10/11	156
イエロー	無処理	80.7	38.8	6.3	2.3	5.9	5.8	77.0	—	—	—

図3 短日処理の様子

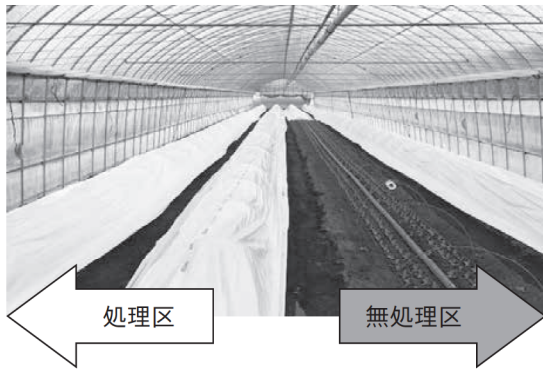


図4 撮影 10/5 無処理区が出荷期

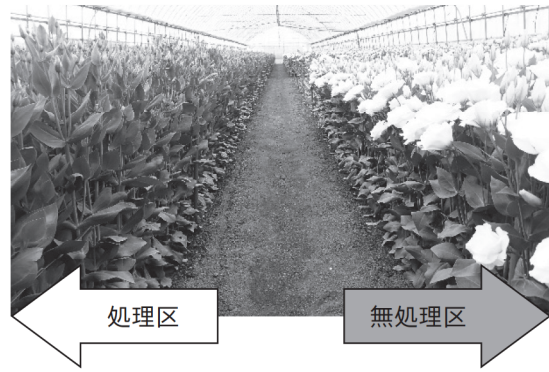
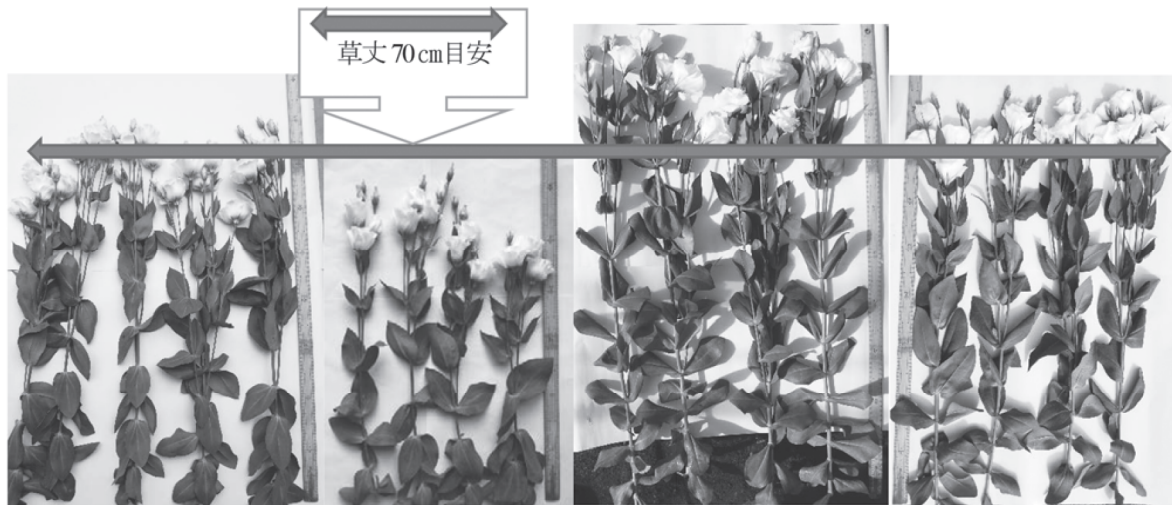


図5 各区の切り花調査時



中生品種(マリアホワイト)		品 種 試 験 区	晩生品種 (オーブスノー)	
短日処理区	無処理区		短日処理区	無処理区
7/15	7/15	定 植 日	7/7	7/7
7/17 ~ 8/6 (20日間)	—	処 理 期 間	7/9 ~ 8/6 (28日間)	—
10/5	9/11	撮 影 日	10/29	10/5
10/1 ~ 10/21	9/10 ~ 9/12	出 荷 期 間	10/27 ~ 11/12	10/6 ~ 10/11
157 円	75 円	平 均 単 価	206 円	184 円

4. 成果の活用と今後の方向性

トルコギキョウの秋出荷における短日処理の有効性が示された。

作業遂行の負担のとらえ方は経営体の判断となるものの、需要期で高単価が見込まれる秋出荷は、経営上有利とみられた。

引き続き、品種適性、定植時期、処理時間、処理期間等の検討が必要である。